

外来化学療法で使用する抗がん薬の副作用

免疫チェックポイント阻害薬は、

副作用症状の項目22を口内乾燥、項目23を視神経障害とした

[illegible]

外来化学療法で使用する抗がん薬の副作用

免疫チェックポイント阻害薬は、

副作用症状の項目22を口内乾燥、項目23を視神経障害とした

[illegible]

外来化学療法で使用する抗がん薬の副作用

免疫チェックポイント阻害薬は、

副作用症状の項目22を口内乾燥、項目23を視神経障害とした

[illegible]

外来化学療法で使用する抗がん薬の副作用

免疫チェックポイント阻害薬は、

副作用症状の項目22を口内乾燥、項目23を視神経障害とした

[illegible]

外来化学療法で使用する抗がん薬の副作用

免疫チェックポイント阻害薬は、
副作用症状の項目22を口内乾燥、項目23を視神経障害とした

薬剤名	主な副作用	該当する項目番号															
ラムシルマブ	腹痛、高血圧、下痢、蛋白尿、血栓塞栓症、消化管出血、消化管穿孔、infusion reaction、肝機能障害、貧血	4	16														
リツキシマブ	infusion reaction、骨髄抑制、感染、HBV再活性化、腫瘍崩壊症候群																
レンパチニブ	高血圧、手足症候群、蛋白尿、血小板減少、肝障害、下痢、食欲減退、発声障害、疲労、無力症、出血、悪心、感染症、肺塞栓症、骨髄抑制	1	4	6	13	16	17	18									

- 《参考書籍》
- ・がん化学療法副作用ハンドブック第3版 第3章抗がん剤の種類【主な副作用】
 - ・がん診療レジデントマニュアル第9版 付録1抗悪性腫瘍薬の種類【主な副作用 >10%、1～10%、頻度不明】
 - ・がん免疫療法 オプジーボの治療中の方への問診票 ※免疫チェックポイント阻害薬のみ（該当する項目番号は青字で記載）

※主な副作用のうち、下記は様々な症状があるため、主な症状についてトレーシングレポートの【副作用症状】に該当する項目としています。

主な副作用	主な症状（該当する項目番号）
甲状腺機能低下(症)、副腎機能不全、下垂体炎	食欲不振(6)、倦怠感(18)
間質性肺疾患、間質性肺炎、肺障害	呼吸困難(19)、咳嗽(20)
心毒性、心機能障害、不整脈、左室駆出率低下	動悸(15)、呼吸困難(19)
心不全	浮腫(14)、呼吸困難(19)
サイトカイン放出症候群	発熱、悪寒、筋肉痛(9)、低血圧、頻脈、動悸(15)、呼吸困難(19)